

これが最後—

## 企画展「ミリアム・ハスケルはご存じ？」開催中

—なぜ、ミリアム・ハスケルは「女王」と呼ばれるのか。その背景に迫る最後の企画展。研究家渡辺マリ氏が自らコレクション解説するトークイベントも開催—

アクセサリーミュージアム(東京都目黒区)

2026 年 1 月

私設美術館アクセサリーミュージアム(東京都目黒区上目黒)はこの度、コスチュームジュエリーブランド「ミリアム・ハスケル」の企画展を開催中です。

日本におけるミリアム・ハスケル研究の第一人者であり、コレクターとしても知られる渡辺マリ氏の協力を得、その膨大なコレクションの中から特に稀少な”アンサインド期”のミリアム・ハスケル・ジュエリーを中心に前期・後期あわせて 200 点以上を展示する企画展を開催しています。

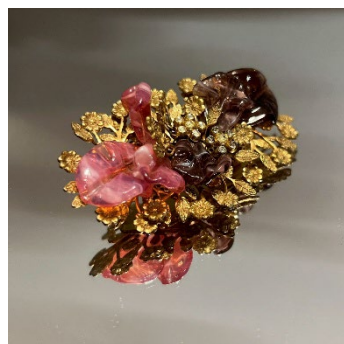


(ミリアム・ハスケルが最初にホテル内に開店した店をイメージした展示)

## これで見納めとなる貴重な作品群

---

ブランド名やロゴなどの刻印を持たないアンサインド期の作品は真贋や制作背景の判断が困難であり、学術的にもきわめて貴重なコレクション群です。しかし今回の企画展をもって、まとまった形として美術館で渡辺マリ氏によるミリアム・ハスケル・アンサインド・コレクションを観られる機会は最後の機会となります。



(展示ケースでは多くの作品の裏側が見られるようになっており、  
各作品のこだわりや工夫が見られるようになっている)



## 貴重な渡辺マリ氏による解説やトークイベントなども開催

---



### 【コレクターによるコレクション解説】

コレクターであり、コスチュームジュエリー研究家である渡辺マリ氏によるギャラリートーク

開催日:2026年1月24日(土)、2月28日(土)

時間:10時30分～、14時～(45分程度)

定員:各回10名 ※要予約

料金:無料(別途入館料)

受付:当日受付での申出

申し込み方法:開館時間中に電話(03-3760-7411)

### 【渡辺マリ氏と館長・田中元子による対談】

開催日:2026年6月5日(金)

時間:18:00～(45分程度)

定員:20名 ※要予約

料金:無料(別途入館料)

受付:当日受付での申出

申し込み方法:開館時間中に電話(03-3760-7411)

## 「女王」と呼ばれるミリアム・ハスケル

---

ミリアム・ハスケル(Miriam Haskell/1899-1981)は、1920年代のアメリカにおいてコスチュームジュエリーの分野を切り拓いた先駆的存在です。

第一次大戦前後の社会変動期にあっても創意工夫を忘れず、世界観や哲学を作品として表現し続けました。

その高い芸術性と繊細な手仕事は現代においても非常に高く評価されており、ビンテージ市場では「コスチュームジュエリーの女王」とも呼ばれています。

## コスチュームジュエリーとは

---

使用する素材に制限がなく、時代性を強く反映したファッション性の高い装身具のこと。

その中でもミリアム・ハスケルはデザイナーのフランク・ヘスとともに、ガラスビーズや貝などの自然素材、最新のプラスチックなど多様な材質のパーツを用い、自由に芸術性の高いジュエリ

ーを生み出しました。ビーズワークを核とした精巧なハンドメイドと、ワイヤーワークによる構造は、現在のハンドメイド作品にも大きな影響を与えています。

## 展示のみどころ

---

ハイジュエリー(貴金属や貴石を使用した資産価値の高い装身具)に飽きた欧米の裕福な女性たちがそのユニークさを認め、こぞって手に取ったミリアム・ハスケルのコスチュームジュエリー。女性の進出が始まった 20 世紀はじめにおいてコスチュームジュエリーというジャンルを開拓したミリアム・ハスケルは何を大切にしたのかを見つめていきます。

ヨーロッパのハイジュエリーとは異なる、アメリカにおける装身具文化の位置づけも含め、装身具史、ファッション史、女性史のいずれの観点からも取材価値の高い内容です。

## 取り扱っているテーマ

---

- ・日本ではまだ一般的ではない「コスチュームジュエリー」というキーワード
- ・日本ではあまり知られていないミリアム・ハスケルの思想と制作哲学
- ・装身具を通じて見える、20 世紀女性の社会的役割や自己表現

文化・アート・ファッション・ジェンダー・ライフスタイルなど、幅広い切り口での取材・掲載が可能です。また、プレゼントとして入館券の提供が可能です。

## アクセサリーミュージアムとは

---

2010 年に開館した東京都目黒区、上目黒(最寄駅:東急東横線祐天寺)にある 3 フloor、2 室の企画展示室と 7 室の常設展示室を持つ美術館。装身具を中心としたファッションにおけるロストテクノロジー(失われた技法)や素材、職人の手仕事、装いの文化を後世に伝えるためアクセサリーミュージアムは設立されました。ファッション性や時代性を色濃く反映する量産品の装身具を主な収蔵品としてコスチュームジュエリーのノアの方舟として役割を果たすべく活動。2025 年に開館 15 周年を迎えました。

常設展示では買い付けの折にサンプルとして購入した欧米の装身具や絵画、衣服(歴史的装束、ブランド含)などを含む 5 万点以上のコレクションから選りすぐりの約 2000 点が常設展で展示されています。くわえて年 2~4 回、装身具以外にも装いの文化に関する企画展を開催しており、小規模館ながら年間 6000~8000 人の来場者を迎えています。東京都歴史文化財団「東京・ミュージアム ぐるっとパス」登録館。



○公式サイト <https://acce-museum.main.jp/>

○Twitter [https://twitter.com/acce\\_museum](https://twitter.com/acce_museum)

○Instagram <https://www.instagram.com/acce.museum>

○Facebook <https://www.facebook.com/accemuseum/>

#### ■開催概要

○企画展名:コスチュームジュエリー研究家 渡辺マリコレクション ミリアム・ハスケルはご存じ？

○会場:アクセサリーミュージアム

○所在地:東京都目黒区上目黒 4-33-12

○開催状況:現在開催中

※開館日・時間・入館料等の詳細は公式サイトをご確認ください。

○オシャレ割引:コスチュームジュエリーを身につけてご来館いただいた方は 100 円割引

※学生 / 障がい者割引のみ併用可能

○協力:渡辺マリ氏

#### ■取材・お問い合わせ先

アクセサリーミュージアム

担当者名:北村、小犬丸

TEL:03-3760-7411

E-mail:[info@acce-museum.main.jp](mailto:info@acce-museum.main.jp)

公式サイト:<https://acce-museum.main.jp/>